

【中学校 英語】

全国学力・学習状況調査 今治市の各教科調査結果の特徴

1 I R T（項目応答理論：Item Response Theory）による分析について

I R Tスコアは、従来の「正答率（％）」とは異なり、平均を「500」、標準偏差を「100」として生徒の英語能力を統計的にスケール化した指標です。I R Tスコアは「問題の難易度や識別力」を考慮して能力値を算出しているため、単なる正答率よりも「具体的にどのようなスキル・領域で点数が届いていないか」を読み解くのに適しています。

本市の中学校英語のI R Tスコアは477で、全国のI R Tスコアと比べ▼22ポイント、県のI R Tスコアと比べ▼8ポイント下回りました。

また、I R Tバンド(項目反応理論に基づいて算出した学力スコアを、1～5の5段階に分類したもの)における上位グループ（5段階中の「4」および「5」）の割合は、県や全国の平均を下回っています。

I R T バンド	割合		
	今治市	愛媛県	全国
5	3.3	4.6	5.9
4	17.3	19.6	22.7
3	39.1	37.9	38.4
2	33.9	32.0	28.2
1	6.3	5.9	4.7

2 特徴が見られた問題

- 9 次の文章は、留学生(exchange student)のジャック(Jack)が日本の学校で体験したことを題材にした【物語】です。【【物語】のはじめから終わりまで、ジャックの気持ちがどのように変化したかをまとめたもの】として最も適切なものを、＜解答欄＞の1から4までの中から1つ選びなさい。

【物語】	＜解答欄＞
Jack studied Japanese at school when he was in Australia. The school decided to send him to Japan as an exchange student, so he was excited about studying in Japan. At school in Japan, Jack made a short speech in Japanese. When he was speaking Japanese, he made mistakes. He thought his classmates did not understand his speech. He felt sad, but he finished his speech. Later at lunch time, a girl came to Jack and said, "I'm Misato. Your speech was great! I was able to understand your Japanese." Jack smiled and said, "Thank you for your kind words." He felt happy. After that, he tried to use Japanese more.	☐ 1 Jack was excited about studying in Japan. At school in Japan, he felt happy when he heard Misato's kind words. Later, he felt sad during his speech in Japanese. ☐ 2 Jack studied Japanese at school in Australia. At school in Japan, he felt happy when he heard Misato's kind words. Later, he felt sad during his speech in Japanese. ☐ 3 Jack was excited about studying in Japan. At school in Japan, he felt sad during his speech in Japanese. Later, he felt happy when he heard Misato's kind words. ☐ 4 Jack studied Japanese at school in Australia. At school in Japan, he felt sad during his speech in Japanese. Later, he felt happy when he heard Misato's kind words.

【正答】

3

日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができるかどうかをみる問題です。本市の平均正答率は43.8％で、全国の平均正答率(49.0％)と比べ、▼5.2％、県の平均正答率(47.7％)と比べ、▼3.9％下回りました。一文ずつの和訳にとらわれ、文章全体の流れやつなぎ語に着目して大意をつかむ読み方が十分に身に付いていないことが考えられます。

- 11 留学生のメイ(Mei)に昨日の出来事について質問し、分かったことを下の【表】にまとめました。【表】を見て、例を参考にしながら、①メイが行った場所、②メイがしたことを、それぞれ英文1文で書きなさい。

【表】

例	メイが起きた時刻	7時(seven)
①	メイが行った場所	公園(the park)
②	メイがしたこと	テニス(tennis)

＜解答欄＞ ※半角で入力してください

例
Mei got up at seven.
①
②

【正答】(例)

- ① Mei went to the park
② Mei played tennis

音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことで実際のコミュニケーションに活用する技能を身に付けているかどうかをみる問題です。本市の平均正答率は41.7％で、全国の平均正答率(52.7％)と比べ、▼11.0％、県の平均正答率(46.7％)と比べ、▼5.0％を下回りました。表現したい文脈や場面に応じて、正しく語形変化させて文を組み立てる技能を身に付けることが課題であると考えられます。

3 これからの学習に当たって

「読むこと」については、読む前にテーマや目的を明確にする活動や、「つなぎ語」に着目して文章構成を把握する指導を充実させる必要があります。また、音声と連動させたグループごとの読解トレーニングを通し、英語の語順のまま大意を正確に捉える力を身に付けさせたいです。

「書くこと」については、毎日の帯時間を活用した「Oral to Written(口頭表現から記述へ)」や「Daily Writing(毎時間の短文記述)」の活動を意図的に増やす必要があると考えています。